

アクセスログの役割(その7)

OB会登録会員の皆様 (2016年3月5日土曜日)

関東では暖かくなりはじめ、街中では梅が盛りです。

梅で有名な亀戸天神でも梅祭りが開催中です。

OB会の皆様いかがお過ごしでしょうか。

件名のご報告をします。

・2016年2月 1,312件

先月の「ビックリポン！」には届きませんが昨年12月から3ヶ月1000件超えが続いています。

検索文字列でヒットでは。

なぜか個人名(どの方々かは記載を控えます)が上がっていました。

そのほかには「ポアロハ」「FM 東海」等が有りました。

追伸:先月に引き続き今月も60年前の創部の年、1956年の出来事をご紹介しますと思います。

3月、4月です。

今年同様、米国大統領選の年だった様でアイゼンハワー大統領が再選。テレビ・ラジオを通じて表明しました。また、この年も世界卓球選手権開催の年で日本で開催されました。

第3回国産自動車ショー日比谷公園で開催。トヨペット、クラウン・デラックス、富士精密工業製国産初6人乗り(75馬力)大型車、新三菱重工製オート三輪(三輪初の丸ハンドル)の出展が掲載されています。

皇太子殿下(現:天皇陛下)が学習院大学の卒業式にご出席の記事が有りました。

ここで目を引いたのは外遊により出席日数が足りず大学を中退され、聴講生として大学にご出席。卒業式にご挨拶されたとのことでした。

スポーツ記事で目を引いたのはプロ野球球団名で近鉄・大映・東映・大洋・中日・南海・国鉄・西鉄・阪急・高橋・毎日・広島・大阪・読売の14球団。「高橋」?に聞き覚えが有りません。

放送関係では

番組欄がラジオ・テレビ欄になっていました(1,2月にはラジオ欄だったはずなのですが)。

テレビの放送時間は昼12時から夜9時代まででした。

関東のテレビ局はNHK、日本テレビ、KRテレビ。ちなみに番組欄には中日放送、毎日放送も載っています。テレビの普及が進んでいる様で、テレビ局の売り上げが日本テレビの3月売上7千万(前年同月3千万)、KRテレビ5~6.5千万(ラジオ同期1億2千万)。番組を売りたいが設備的に自主製作は限界、放送時間も延長できないとの記事が有りました。

ちなみに、この記事の中に「6時から3社ニュースはスポンサーを付けてはいけない」となっておりNHKと民放で同じニュース番組を放送していたようです。

シャープの広告のキャッチコピーで「テレビパーティーさかん」と言ったものも有ります。

ラジオでは

ニッポン放送(1310Kc) …… 番組「サザエさん(出演:市川すみれ)」「煙突の歌(出演:中村メイコ)」「獅子丸一平(出演:中村錦之介)」「全国お国自慢(出演:榎本アナ)」

文化放送(1130Kc) … 番組「農業気象(出演:大橋美保)」「受験英作文(出演:沢崎九二三)」「劇『海にも春』(出演:吉川みよ, 香川日出子)」「東京ゴースト(出演:小沢昭一)」

ラジオ東京(950kc) … 番組「東西こぼれ話(出演:高野アナ)」、「歌のない歌謡曲」、「トニー童話(出演:トニー谷)」、「ターザン(出演:伊藤海彦)」、「名作劇場『カルメン』(出演:重久弥, 中村メイコ, 徳川夢声)」等番組がありました。

また、受験シーズンだったので日本短波放送が「入試合格者を全国に速報」と広告を出しています。

NSB チューナーの定価 300 円、郵便送料 8 円と掲載されています。

(出典:毎日新聞縮刷版 1956 年 3 月, 4 月。日本経済新聞縮刷版 3 月, 4 月)

1982 年度卒(部) 坂代(今週から花粉症で目が痒くなりました)

坂代 様 皆様 (2016 年 3 月 6 日 日曜日)

岡山もだいぶ(というかかなり)暖かくなってまいりました。

今年は、桜の開花も早そうなので、後樂園(日本三大名園)での花見をいつにしようかと、日取りの決定にそわそわはじめた今日この頃です。

アクセスログのご連絡ありがとうございます。いつもながらご苦労様です。

今月で「びっくりポン」の朝ドラも終わるようですが、それまでに先月並みのアクセスに戻したいものですネ。

懐かしい 60 年前の出来事、私の思い出と重ねて楽しく読ませていただきました。

丁度私は中学2年生。布施市立第六中学校の放送部(通称FRB)で多感な思春期真っ盛りのころでした。

前回MLで紹介した、ラジオ少年時代がこの頃です。(※布施市は今の東大阪市です)コバちゃん(小林洋君)と同じように、鉱石ラジオのコイルをボビンではなく、スパイダーに巻いて微弱な電波を探して一喜一憂したころです。

昨今では、クラブ活動(部活)の顧問の先生が「ブラック部活」を強いられて問題になっているようですが、当時の放送部の顧問は素晴らしい先生で、夏休みも、宿直(当時は先生が当番で宿直していました)の時も一緒に遊んでくれました。

この先生の宿直の夜に、初めて「麻雀」というゲームを親しい部員仲間と一緒に徹夜で教わりました。(これブラック部活?) 当時からラジオから流れてくる「歌の無い歌謡曲」(松下電器提供)は、知らず知らず耳にした懐かしい番組です。

ステレオという言葉が流行り始めたのもこの頃で、45/45ステレオと呼ばれた時代で、ドーナツ盤のレコードが出回ったころです。

NHK ラジオの第 1・第 2 放送の二波を利用した、ピンポンの音が右に左に動くサマに、誰もがその立体感に驚き実感した時代でもあります。先生の指導で、ステレオのレコードの試聴のために、「6P-W1」という 2WAY スピーカーユニット(ナショナル製:真ん中にピンポン玉くらのヘソがある)を使った、密閉型のスピーカボックス(木工作業含む)を 2 台製作して「レコード鑑賞会」を開催したことも、まだセメダインがない時代、ニカワの臭いに鼻をつまんだことと共に思い出しています。

このころ「L 盤アワー」というラジオ番組から、ジェームス・ディーン主演の「エデンの東」のテーマミュージックが流れていたのを、今でもはっきり覚えています。

坂代君の記事につられて、ちょっとだけ思い出した私の少年時代でした。

では。

木村 正義

放研 OB の皆様 (2016 年 3 月 6 日日曜日)

坂代君アクセスログありがとうございます。坂代君と同じ 82 年卒で学部も同じ矢崎と申します。
木村会長のおっしゃっているスピーカーの真ん中の球は「イコライザー球」ですね。
実は我が家にナショナル時代の古いステレオ(勿論, 真空管のしかも AM と FM のチューナー内蔵, 正式名称は忘れてしまいましたが, 緑色に光る真空管の光が音の強弱を表示します)があり, スピーカーもエンクロージャーがバスレフタイプでイコライザー球がついたスピーカーが 1 つだけ付いています。
最近では電源を入れたことがないので, 今も動くかわかりません。子供の頃は良く聴いていました。

.....
OB 会登録会員の皆様 (2016 年 4 月 3 日日曜日)

東京ではこのところ暖かく桜が満開となりました。
昨日の夜から気温が下がり葉冷えとなっています。
昨日まで仕事で白石川堤一目千本桜で有名な船岡に出張しておりました。
船岡の桜は蕾で色づいておりましたが, 見頃になるにはあと一週間ほど掛かりそうでした。
OB 会の皆様の地元では如何でしょうか? OB 会の皆さんでメールによる桜の実況報告はいかがですか?
メールで一つの番組が出来そうです。

件名のご報告をします。

・2016 年 2 月 1,541 件

今月も 1000 件超えとなりました。

検索文字列でヒットでは。

正統派「東海大学放送研究部」がトップ。

そのほかには「進取の気性とは」, 「冬の星空 デキシールランドジャズ」, 「ハイブリッドキャスト送出」等がありました。

追伸:先月に引き続き今月も 60 年前の創部の年, 1956 年の出来事をご紹介します。

5 月です。

5 月 18 日日本隊がマナスル登頂。

また, スイス隊がエベレスト登頂, 合わせてローツェ(標高世界第 4 位)初登頂。

銀座で小判が 23 枚(170 万円相当)が発見。

東京オリンピックに向けて「神宮競技場」を「国立競技場」へ改装計画の一次案がまとまる。

科学技術庁が発足。

大手町ビル(第 3 丸ビル)高さ東洋一。

車の S31 年度生産計画台数 9 万 2 千台(バス, トラック, 乗用車含む)。

宝くじの賞金(東京都) 一等:200 万 十(末)等:50 円

シャープ兄弟から力道山・遠藤組が世界タッグ選手権奪取。

映画でも「力道山の世界征服」,「力道山空手チョップの嵐」が「転居家族」と三本立て手で公開。

映画では「太陽の季節」が公開。度々記事になっています。

洋画では「理由なき反抗」が公開。

放送関係では

「カラーテレビの将来」と言う記事が有り, その要旨は「米国で NTSC 方式で WRCA(NBC)が 2 時間程度カラープログラムを放送。

放送局の 1/4 がカラー放送設備を設置。

英国では 1955 年からカラー放送を開始。

ソ連は CBS 方式から NTSC 方式へ移行。

日本では NHK 技研, 日本ビクター, 東京芝浦マツダ研究所等で研究が進められている。

1955 年 NHK 技研でカラーテレビ実験を公開。

1956 年 3 月 31 日に NHK 技研から NHK 放送会館へ「マイクロ波送信でカラー中継が公開された。」

また, 邦画 5 社が「全国テレビ網が完成」したことを理由に 10 月からテレビへ映画定期用中止を決定。

ちなみに, 日本経済新聞の私の履歴書は浅沼稻次郎, 江戸川乱歩でした。

(出典:毎日新聞縮刷版 1956 年 5 月。日本経済新聞縮刷版 5 月)

1982 年度卒(部) 坂代
